

令和2年度（2020年度） 商工会等事業変更概要書（2回目以降）

泉佐野商工会議所

（単位：円）

1. 事業変更一覧

変更区分	事業区分	事業名	変更の理由	補助金額
変更	地域活性化事業	さのまちゼミ	1月に入り急激な新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、イベント参加者の皆様の「安全・安心」を確保することが困難となってきた中、国の緊急宣言が出されたこともあり、同事業を途中で中止。（但し既に実施経費及び準備経費（1,618,221円を支出済）×0.5=809,112円）	▲ 912,938
追加	経営相談支援事業	経営相談支援事業	コロナ禍が進む中、相談の増加により	912,938

※変更区分には、「追加」、「廃止」、「変更」、「未実施」のいずれかを選択してください。 0

2. 経費支出概要書（経費内訳）

泉佐野商工会議所

(1) 経営相談支援事業

(単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	200	5,000,000		215	5,375,000		375,000	
支援機関等へのつなぎ	4	40,000		4	40,000		0	
金融支援（紹介型）	5	150,000		5	150,000		0	
金融支援（経営指導型）	97	3,880,000		97	3,880,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	0	0		0	0		0	
資金繰り計画作成支援	55	1,100,000		65	1,300,000		200,000	
記帳支援	50	1,250,000		50	1,250,000		0	
労務支援	50	1,000,000		60	1,200,000		200,000	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	5	100,000		5	100,000		0	
販路開拓支援	60	1,200,000		60	1,200,000		0	
事業計画作成支援	25	1,250,000		25	1,250,000		0	
創業支援	10	200,000		10	200,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
コスト削減計画作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
財務分析支援	50	500,000		50	500,000		0	
5S支援	0	0		0	0		0	
IT化支援	5	100,000		5	100,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	10	200,000		10	200,000		0	
災害時対応支援	51	255,000	50	250,000	-5,000			
フォローアップ支援	40	200,000	40	200,000	0			
結果報告	175	1,750,000	189	1,890,000	140,000			
小 計	—	18,575,000	18,571,115	—	19,485,000	19,484,053	910,000	912,938

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	0	0		0	0		0	
法律	10	240,000		10	240,000		0	
税務	12	288,000		12	288,000		0	
労務	4	96,000		4	96,000		0	
知財	4	96,000		4	96,000		0	
小 計	—	720,000	720,000	—	720,000	720,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	8,681,341	別紙事業調書【変更後】のとおり	7,768,403		▲ 912,938

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	0	別紙事業調書【変更後】のとおり	0		0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		27,972,456		27,972,456		0

事業名		さのまちゼミ		新規/継続	継続
想定する実施期間		H 29 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業 の 概 要	事業の目的 (現状や課題をどのような 状態にしたいか)	<p>インターネットが普及した昨今では直接店舗に来店しなくてもネット上で買い物を済ませることができるが、店舗に直接行くことでしか伝わらないことも多々ある。お店から商品と顧客との出会いの場を提供することで直接のコミュニケーションを通した生の情報発信が可能となり、店主の人となりや知識、ノウハウを知ってもらうことで「今度は客として来店したい」という思いにつながっていく。本事業を通じて、地元の顧客をはじめ、広く顧客を呼び込み、個店の新規顧客の獲得を支援していく。</p> <p>また、本事業の参加事業者については、セミナーや実行委員会を通じて互いの交流を深め、事業連携や異業種間のマッチングなど、新しい取り組みを行う際の足がかりとなるネットワーク形成を図る。本事業はすでに3回の実施を経て、顧客の獲得の他にこうした事業者間のつながりによる販路開拓や連携といった成果が出ており、今後回数を増すごとに参加事業者の増加や連携の強化によってさらなる副次的効果が期待できる。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>南海本線泉佐野駅より徒歩約10分圏内に所在し、自店の持つ知識やノウハウの情報発信が可能である事業者を募集する。主に飲食・小売・サービス関係。エリア外の事業者についてはエリア内の施設(公民館・他店舗)を利用する形で参加するか、もしくは他店とのコラボ(2事業者が1つの講座を開講)での参加となる。</p>			
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>大阪市内を中心に実施されている「100円商店街」事業や飲食店が販路開拓を図る「街バル事業」はともに新規顧客の獲得を目的に、イベント参加者に店や店主の魅力を感じてもらうことでリピート化を図るものであるが、本事業も同様に普段店舗に来店しないような客層に事業を通して実際に買い物をしてもらうことで店主とのコミュニケーションを通して商品、サービスを知って以後のリピーター化を図るものである。</p> <p>参加店・顧客ともに好評であり、年2回以上の開催を望む声アンケート調査などでその成果が表れている。「販売」という制約を取り払い、より多くの業種が参加可能である「まちゼミ」という形式での販路開拓、そして事前セミナーの実施による事業の趣旨理解、成果を出すためのノウハウの共有により成果に結びつきやすいことが他の販路開拓系イベント事業と一線を画す部分であり、参加事業者間のつながりによるネットワーク形成からの副次的効果も大きく、地域特性として事業者間の横のつながりが薄い当地ではこうした部分もニーズが高く、ネットワークからの情報収集、連携、マッチングを主目的に事業参加するケースもある。</p>			

事業名	さのまちゼミ	新規/継続	継続	
<p>これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入</p>	<p>実施内容・ 実績数値</p>	<p>＜第1回セミナー＞ 【日 時】平成31年4月15日(月) 午後7時～9時30分 【講 師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内 容】「三方よしのまちゼミ事業とは」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 ＜第2回セミナー＞ 【日 時】令和元年6月6日(木) (2部開催) ①午後1時～3時 ②午後7時～9時00分 【講 師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内 容】「講座の組み立て方、まちゼミのツボと仕組みについて」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 ＜第3回セミナー＞ 【日 時】令和元年8月21日(水) (2部開催) ①午後2時～4時 ②午後7時～9時00分 【講 師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内 容】「まちゼミ本番までの準備・オペレーション、 実施後のアフターフォローについて」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 ＜第4回セミナー＞ 【日 時】令和元年11月20日(水) 午後5時30分～6時45分 【講 師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内 容】「まちゼミアンケート結果の分析・次回へのブラッシュアップ」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 ＜第3回 得する街のゼミナール さのまちゼミ＞ 【日 時】令和元年9月5日(木)～10月5日(土) 【内 容】「自社店舗を会場として店主が講師となり、自分(自社)の持つ知識・ ノウハウ・技術を受講者に無料で提供するミニ講座の実施」 【会 場】「各参加店の店舗内・泉佐野商工会議所 他(南海本線泉佐野駅周辺)」 【参加数】56店舗(補助対象50社)・全70講座 受講者延べ762名 【主 催】泉佐野商工会議所・泉佐野商業会連合会 【後 援】泉佐野市 *第2回・第3回セミナーについては夜間営業店舗の参加を促すため、開催時間を分けて2部開催とした。</p>		
	<p>反省点</p>	<p>今回、参加店舗が昨年度と比べて減少した。その結果、昨年の100講座から70講座の開講になった。受講者も、一人が複数の講座を受講する事が多く「開催しているのを知らなかった」という声もあった。年代も40～50代の受講者が多く、今後は、若年者も含めた幅広い年代へのまちゼミのPRを図っていきたい。また、自主運営についても、まだ参加店だけでは実施できないとの声が多くあった。</p>		

事業名		さのまちゼミ	新規/継続	継続	
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に	○	人材育成型	地域の商店主が講師となり、その道のプロならではの専門的な知識や情報、ノウハウを無料で受講者（顧客）に伝える少人数制のゼミを1か月～1か月半の期間で実施する。全体の流れとしては事前にまちゼミ自体の周知と趣旨を理解してもらうためのセミナーを実施したうえで参加事業者を募集し、より効果的に事業を実施できるよう参加者向けの説明会を開催する。参加者確定後は案内チラシを作成し、広報を行い受講者を広く募る。まちゼミの実施に当たっては原則として各参加事業所において開催するが、実施エリア外の事業者や十分なスペースが確保できない店舗などは、エリア内施設の利用か他店とのコラボにより実施できる形でフォローする。また、まちゼミ実施後にもフィードバックが得られるよう結果報告会を行い、継続的に開催して地域のイベントとして定着することを目指す。		
		人材交流型			
	○	販路開拓型			
		ハズカ型			
		独自提案型	第2回より参加店舗より有志の実行委員を募り、主催者と協働して本事業の企画・運営を担う実行委員会を組織している。事業者主体での運営体制を構築することで各参加店舗が主体的に事業参加し、PDCAを意識しながら将来的には事業者による自主運営、独立採算にて本事業が行われるように計画する。 事業としては下記のスケジュールで進めていく。尚、実行委員会については年度内に6回程度適宜開催する。 ①7月まちゼミ事業についてのセミナー開催、事業の周知を図る(Webでの開催) 【内容】「三方よしのまちゼミ事業とは」（2H・1日間） 【会場】「泉佐野商工会議所」 ②8月参加者を募集し、参加者向けの説明会を開催 【内容】「講座の組み立て方、まちゼミのツボと仕組みについて」（2H・1日間 個店対応・ワークショップ有） 【会場】「泉佐野商工会議所」 ③10月参加店が決定し、チラシ作成 ④2月～3月に1か月の期間でまちゼミを実施 【内容】「自社店舗を会場として店主が講師となり、自分（自社）の持つ知識・ノウハウ・技術を受講者に無料で提供する」 【会場】「各参加店内」 ⑤3月参加店アンケート調査 ⑥(3月) 結果報告会・ワークショップ開催（2H・1日間） 【内容】「報告と次回に向けての検討会」 【会場】「泉佐野商工会議所」		
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)		<input type="checkbox"/> (a)府施策連携	<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果
		(c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町(窓口)により広く同事業をPR。 (d)相談事業相乗効果 事業実施後は販路支援等の支援に繋げる。			
支援対象企業数		設定根拠及び募集方法⇒ 35 社	泉佐野市内の事業者で新規顧客の獲得を目指す事業所を対象として募集をかける。南海・泉佐野駅を中心とする市街地（約1Km圏内）に400件の事業所があり、本事業は業種の制限がないため、市報、DM、会報、SNSそして参加店舗・実行委員による紹介にて幅広く募集することで35社の参加を見込む。		

事業名		さのまちゼミ				新規/継続	継続
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→ 50 社	泉佐野市内の事業者で新規顧客の獲得を目指す事業所を対象として募集をかける。南海・泉佐野駅を中心とする市街地（約1Km圏内）に400件の事業所があり、本事業は業種の制限がないため、市報、DM、会報、SNSそして参加店舗・実行委員による紹介にて幅広く募集することで50社の参加を見込む。				
	支援対象企業の変化	今回のまちゼミを通して訪れた受講者に自社の持つ技術やノウハウを発信し、同時に自店の魅力を積極的・効果的に伝える方策を試行錯誤しながら検討し、できることから販売促進への取組を試みるようになる。					
	指標	さのまちゼミ実施に関して販促意識が向上した企業の割合	数値目標	70%			
	指標	さのまちゼミ受講者が再来店（リピート）した参加店の割合	数値目標	50%			
その他目標値	目標値の内容→						
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、→の行に挿入)	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費		
		20,200 円 ×	35	1.30 =	919,100 円		
		50,500 円 ×	50	1.00 =	2,525,000 円		
					0 円		
		(小計)			3,444,100 円		
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算（小計の5%）			0 円			
	計			3,444,100 円			
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)							
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等				
	②受益者負担	円	負担金の積算				
	(a)府施策連携	(b)広域連携	<input checked="" type="radio"/>	(c)市町村連携	<input type="radio"/>	(d)相談事業相乗効果	
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)				
	3,444,100 円 ×	0.50 =	1,722,050 円	(0 円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割（配分の考え方）			
			円				
			円				
			円				
			円				

【備考】

事業名		さのまちゼミ		新規/継続	継続
想定する実施期間		H 29 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>インターネットが普及した昨今では直接店舗に来店しなくてもネット上で買い物を済ませることができ、店舗に直接行くことでしか伝わらないことも多々ある。お店から商品と顧客との出会いの場を提供することで直接のコミュニケーションを通じた生の情報発信が可能となり、店主の人となりや知識、ノウハウを知ってもらうことで「今度は客として来店したい」という思いにつながっていく。本事業を通じて、地元の顧客をはじめ、広く顧客を呼び込み、個店の新規顧客の獲得を支援していく。</p> <p>また、本事業の参加事業者については、セミナーや実行委員会を通じて互いの交流を深め、事業連携や異業種間のマッチングなど、新しい取り組みを行う際の足がかりとなるネットワーク形成を図る。本事業はすでに3回の実施を経て、顧客の獲得の他にこうした事業者間のつながりによる販路開拓や連携といった成果が出ており、今後回数を増すごとに参加事業者の増加や連携の強化によってさらなる副次的効果が期待できる。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>南海本線泉佐野駅より徒歩約10分圏内に所在し、自店の持つ知識やノウハウの情報発信が可能である事業者を募集する。主に飲食・小売・サービス関係。エリア外の事業者についてはエリア内の施設（公民館・他店舗）を利用する形で参加するか、もしくは他店とのコラボ（2事業者が1つの講座を開講）での参加となる。</p>			
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>大阪市内を中心に実施されている「100円商店街」事業や飲食店が販路開拓を図る「街バル事業」はともに新規顧客の獲得を目的に、イベント参加者に店や店主の魅力を感じてもらうことでリピート化を図るものであるが、本事業も同様に普段店舗に来店しないような客層に事業を通して実際に買い物をしてもらうことで店主とのコミュニケーションを通して商品、サービスを知って以後のリピーター化を図るものである。</p> <p>参加店・顧客ともに好評であり、年2回以上の開催を望む声アンケート調査などでその成果が表れている。「販売」という制約を取り払い、より多くの業種が参加可能である「まちゼミ」という形式での販路開拓、そして事前セミナーの実施による事業の趣旨理解、成果を出すためのノウハウの共有により成果に結びつきやすいことが他の販路開拓系イベント事業と一線を画す部分であり、参加事業者間のつながりによるネットワーク形成からの副次的効果も大きく、地域特性として事業者間の横のつながりが薄い当地ではこうした部分もニーズが高く、ネットワークからの情報収集、連携、マッチングを主目的に事業参加するケースもある。</p>			

事業名	さのまちゼミ	新規/継続	継続	
<p>これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入</p>	<p>実施内容・ 実績数値</p>	<p><第1回セミナー> 【日時】平成31年4月15日(月) 午後7時～9時30分 【講師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内容】「三方よしのまちゼミ事業とは」 【会場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第2回セミナー> 【日時】令和元年6月6日(木) (2部開催) ①午後1時～3時 ②午後7時～9時00分 【講師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内容】「講座の組み立て方、まちゼミのツボと仕組みについて」 【会場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第3回セミナー> 【日時】令和元年8月21日(水) (2部開催) ①午後2時～4時 ②午後7時～9時00分 【講師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内容】「まちゼミ本番までの準備・オペレーション、 実施後のアフターフォローについて」 【会場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第4回セミナー> 【日時】令和元年11月20日(水) 午後5時30分～6時45分 【講師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内容】「まちゼミアンケート結果の分析・次回へのブラッシュアップ」 【会場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第3回 得する街のゼミナール さのまちゼミ> 【日時】令和元年9月5日(木)～10月5日(土) 【内容】「自社店舗を会場として店主が講師となり、自分(自社)の持つ知識・ ノウハウ・技術を受講者に無料で提供するミニ講座の実施」 【会場】「各参加店の店舗内・泉佐野商工会議所 他(南海本線泉佐野駅周辺)」 【参加数】56店舗(補助対象50社)・全70講座 受講者延べ762名 【主催】泉佐野商工会議所・泉佐野商業会連合会 【後援】泉佐野市 *第2回・第3回セミナーについては夜間営業店舗の参加を促すため、開催時間を分けて2部開催とした。</p>		
	<p>反省点</p>	<p>今回、参加店舗が昨年度と比べて減少した。その結果、昨年の100講座から70講座の開講になった。受講者も、一人が複数の講座を受講する事が多く「開催しているのを知らなかった」という声もあった。年代も40～50代の受講者が多く、今後は、若年者も含めた幅広い年代へのまちゼミのPRを図っていきたい。また、自主運営についても、まだ参加店だけでは実施できないとの声が多かった。</p>		

事業名		さのまちゼミ	新規/継続	継続	
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に	○ 人材育成型	地域の商店主が講師となり、その道のプロならではの専門的な知識や情報、ノウハウを無料で受講者(顧客)に伝える少人数制のゼミを1か月~1か月半の期間で実施する。全体の流れとしては事前にまちゼミ自体の周知と趣旨を理解してもらうためのセミナーを実施したうえで参加事業者を募集し、より効果的に事業を実施できるよう参加者向けの説明会を開催する。参加者確定後は案内チラシを作成し、広報を行い受講者を広く募る。まちゼミの実施に当たっては原則として各参加事業所において開催するが、実施エリア外の事業者や十分なスペースが確保できない店舗などは、エリア内施設の利用か他店とのコラボにより実施できる形でフォローする。また、まちゼミ実施後にもフィードバックが得られるよう結果報告会を行い、継続的に開催して地域のイベントとして定着することを目指す。 第2回より参加店舗より有志の実行委員を募り、主催者と協働して本事業の企画・運営を担う実行委員会を組織している。事業者主体での運営体制を構築することで各参加店舗が主体的に事業参加し、PDCAを意識しながら将来的には事業者による自主運営、独立採算にて本事業が行われるように計画する。 事業としては下記のスケジュールで進めていく。尚、実行委員会については年度内に6回程度適宜開催する。 ①7月まちゼミ事業についてのセミナー開催、事業の周知を図る(Webでの開催) 【内容】「三方よしのまちゼミ事業とは」(2H・1日間) 【会場】「泉佐野商工会議所」 ②8月参加者を募集し、参加者向けの説明会を開催 【内容】「講座の組み立て方、まちゼミのツボと仕組みについて」(2H・1日間 個店対応・ワークショップ有) 【会場】「泉佐野商工会議所」 ③10月参加店が決定し、チラシ作成 新型コロナウイルス感染症が短期間に急激に拡大し、大阪府においても国の緊急事態宣言が出され、市民の皆様を巻き込んだイベントであることから、地域の皆様の「安全・安心」を確保することが困難になり、急遽、中止せざるを得ないこととなった。そのため下記の事業が実施できなくなった。 ④2月~3月に1か月の期間でまちゼミを実施 【内容】「自社店舗を会場として店主が講師となり、自分(自社)の持つ知識・ノウハウ・技術を受講者に無料で提供する」 【会場】「各参加店内」 ⑤3月参加店アンケート調査 ⑥(3月)結果報告会・ワークショップ開催(2H・1日間) 【内容】「報告と次回に向けての検討会」 【会場】「泉佐野商工会議所」	○ 人材交流型	新規/継続	継続
	○ 販路開拓型		○ 独自提案型	○	○
	ハズカ型				
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)		<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携	<input type="checkbox"/> (b) 広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c) 市町村連携	<input type="checkbox"/> (d) 相談事業相乗効果
		(c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町(窓口)により広く同事業をPR。 (d)相談事業相乗効果 事業実施後は販路支援等の支援に繋げる。			
支援対象企業数		設定根拠及び募集方法⇒ 35 社	泉佐野市内の事業者で新規顧客の獲得を目指す事業所を対象として募集をかける。南海・泉佐野駅を中心とする市街地(約1Km圏内)に400件の事業所があり、本事業は業種の制限がないため、市報、DM、会報、SNSそして参加店舗・実行委員による紹介にて幅広く募集することで35社の参加を見込む。		

事業名		さのまちゼミ				新規/継続	継続	
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 50 社	泉佐野市内の事業者で新規顧客の獲得を目指す事業所を対象として募集をかける。南海・泉佐野駅を中心とする市街地（約1 Km圏内）に400件の事業所があり、本事業は業種の制限がないため、市報、DM、会報、SNSそして参加店舗・実行委員による紹介にて幅広く募集することで50社の参加を見込む。 募集の結果、47社（67講座）の参加者が集まり、2月1日から3月1日まで開催の予定であったが、中止となり、実施できなかった。					
	支援対象企業の変化	今回のまちゼミを通して訪れた受講者に自社の持つ技術やノウハウを発信し、同時に自店の魅力を積極的・効果的に伝える方策を試行錯誤しながら検討し、できることから販売促進への取組を試みるようになる。						
		指標	さのまちゼミ実施に関して販促意識が向上した企業の割合	数値目標	70%			
		指標	無し	数値目標				
その他目標値	目標値の内容⇒							
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数	係数	標準事業費		
	⇒	20,200 円 ×		35 ×	1.30 =	919,100 円		
		50,500 円 ×		50 ×	1.00 =	2,525,000 円		
				×	=	0 円		
		(小計)					3,444,100 円	
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%)					0 円	
	計					3,444,100 円		
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準とおりの場合不要)	支払い済みの経費 1,618,221円×0.5=809,112円							
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等					
	②受益者負担	円	負担金の積算					
	<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携	<input type="checkbox"/> (b) 広域連携	<input checked="" type="radio"/> (c) 市町村連携	<input type="radio"/> (d) 相談事業相乗効果				
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)					
	3,444,100 円 ×	0.50 =	1,722,050 円	(0 円)				
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割 (配分の考え方)				
			円					
			円					
			円					
			円					
【備考】								

泉佐野商工会議所

事業名

さのまちゼミ

計画に対する
実績（数値）

<まちゼミ>
支援企業
数(計画)

50

支援企業
数(実績)

47

支援
実績率

94

【参考】
参加者数

47

理 由

【変更の経過と理由】

1月に入り、急激な新型コロナウイルス感染症の拡大により、国からも緊急宣言が出され、市民への感染拡大の危険性が最高に高まる中、同事業に参加される市民の方々の「安全・安心」の確保が困難となったことから、1月時点で中止。（関連セミナー<3回>は実施済み）。さのまちゼミは47社の参加者が集まり、2月1日から3月1日まで開催の予定であった。参加予定事業所及び地域の方々への中止を連絡した。

【支援効果】

・まちゼミ説明会を実施することで、販売促進（新規顧客の獲得等）に向けた取組み意識が向上した。まちゼミチラシを製作し、泉佐野市内へ案内を行うことで、お店のPRに繋がった。

【今後の改善方策】

次回、開催の機会があれば、完全オンラインにて実施する等、感染症対策をしっかりと行う必要があると感じた。

【経費内訳】

- ・発信料 265,044円（別添明細）
- ・印刷代 529,650円（別添明細）
- ・謝金 120,000円（別添明細）
- ・看板作成費 16,800円（別添明細）
- ・さのまちゼミHP作成費 682,000円（別添明細）
- ・消耗品費 4,727円（別添明細）
- （計）（1,618,221円）×0.5=809,112円≤1,722,050円